

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901761		
法人名	有限会社 あらた		
事業所名	グループホームあらた (ユニット1階)		
所在地	旭川市豊岡8条1丁目3番20号		
自己評価作成日	平成22年7月14日	評価結果市町村受理日	平成22年8月25日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172901761&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成22年8月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コミュニケーションの時間を多く持つ事で個々の入居者様の思いや希望を汲み取り、安心・満足感のある毎日を過ごしてもらえるよう支援している。
年間行事なども外出行事を多く企画し、外の空気に触れ生き生きとした時間が過ごせるよう支援をしている。
玄関先や庭には季節の花々や野菜の苗を植えて、入居者様に教わりながら手入れをし、成長や収穫の喜びを味わいながら作業を実施しており収穫された作物を献立に使用したり、簡単な調理を職員と一緒にしたりしている。
入居者様の可能性を見極め一方的に介護や、支援を受けるのではなく、できる事を積極的に行える様支援し行動に応じた結果が得られ生活に充実・満足・達成感が味わえる工夫もしている。
地域の方も気軽に立ち寄ってくれ、入居者様と会話をされたり、冬場など除雪を入居者様や職員と一緒に手伝ってくれたりもしており、毎年必ず幼稚園児の訪問もあり、交流を大切にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

旭川市内中心部の住宅街に開設された2ユニットのグループホームで、町内清掃や資源回収等の地域活動に積極的に参加したり、事業所の火災避難訓練に地元の人々の参加を呼びかける等地域との交流に取り組んでいます。家族会では、意見や要望、苦情等言い表せる機会が持たれ、運営に反映されていると共に本人との関係を継続できるよう支援しています。事故の未然防止の為にヒヤリ・ハットに職員一丸となって取り組み、データの収集・分析が行われ、変色や転倒等の防止に効果を上げています。また、身体拘束廃止委員会では、事業所内での研修会を通じて職員間の認識を共有し、本人の思いや尊厳を大切に言葉かけやスピーチロックへの対応が工夫されています。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)				項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目		取り組みの成果 該当するものに 印		項目		取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらいと	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらいと	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、生き生きと動いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらいが					
		3. 利用者の1/3くらいが					
		4. ほとんどいない					

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、申し送り後に職員全員で復唱している。来訪者や職員の目につきやすい場所に掲示し、常に意識し介護に従事している。	事業所独自の理念をつくりあげ、朝のミーティング時の唱和を通じて、職員間で理念を共有している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所への散歩などで地域の方々との交流している。消火訓練や行事への参加を呼びかけ交流している。	町内清掃や資源回収等の地域活動に積極的に参加したり、事業所の火災避難訓練に地元の人々の参加を呼びかける等地域の人達と日常的な交流に努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣商店等との付き合いや町内清掃に心掛け、資源回収にも協力している。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域住民の役員や民生委員、入居者家族の方に参加してもらい、地域の方々の理解や協力を頂きサービス向上に取り組んでいる。	運営推進会議では、防災設備の設置状況の説明や火災避難訓練への地元の人々の参加等地域との協力体制について具体的に話し合っている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者に質問事項を通じて指導・助言を受けるとともに、担当者訪問時はサービスの実施状況を伝えアドバイスを頂いたりと関係を築いている。	市担当者や包括支援センターとは、日常業務を通じて情報交換を行い、連携を深めるように努めている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間の防犯を除き施錠はしていない。身体拘束をしないケアを実践し理解を深めている。	身体拘束廃止委員会で管理者及び職員の認識の共有が行われている。また、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	資料の回覧や介護ミーティング・カンファレンスで話し合い、身体だけでなく言葉の虐待も常に意識している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	司法書士より権利擁護に関する指導を受け状況に応じたアドバイスを受けている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者様・御家族様と事前面談を行い、運営説明や入居に関する一切を事前に説明し、同意を得ている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口の掲示や玄関に意見箱を設置している。家族様面会時に希望・要望など直接話しができる様声掛けを実施している。	家族や来訪者等が管理者、職員並びに外部者へ意見や苦情等を言い表せるように苦情等の意見箱を設置し、市町村等の相談窓口の掲示をしている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常日頃から職員の意見や提案を聞く機会を設けている。介護ミーティングなども意見交換の場として活用している。	毎月のミーティングで職員の意見や要望、提案を聞くよう機会を設けて、運営に反映できるように取り組んでいる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場での実績や勤務状況を見て職員の声を聞き研修会への参加や資格修得者にも昇給の機会がある。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	医療機関の協力を得て勉強会を実施したり、職員のスキルアップを図る為、研修会にも積極的に参加している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会に参加し介護支援に関わる多様な支援や情報をグループワークを通じ交流を深め質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価			外部評価	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の生活状況を事前把握し、入居前に可能な限り面談を行い要望を聞いたりして関係作りをしている。				
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に必ず面談をし御家族様の要望もお聞きしケアに取り入れたりしている。又来所時にも声掛けを行い都度要望や相談を受けたりしている。				
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、ケアマネを含めカンファレンスを実施している。入居者様の背景を尊重し、本人とご家族様に安心してもらえる対応に努めている。				
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の心理・体調面を考慮しながら得意な事の手伝いや方法を教えてもらったりと支え寄り添う関係を作っている。				
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	手紙で毎月の様子や体調など近況を伝えたり行事にも参加してもらっている。又面会時には情報の共有をしている。				
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室に電話を設置したり、入居者様の希望でホームより連絡したりしている。希望に合わせた外出の機会を作ったりと支援している。	センター方式を活用して、過去の生活歴を把握し、通い慣れたスーパーでの買い物や地域の清掃等の行事参加を通じて馴染みの人との交流の機会を多くもてるように検討している。			
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係が仲良く保てるように身体的、精神的な状態を考慮した上で職員が間に入ってレクリエーション等の機会を作っている				

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先へのお見舞いや退居後もご本人様やご家族様より相談、連絡あった時は対応している。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意志の疎通が図れる方はご本人様の希望を取り入れカンファレンスを行っている。困難な場合はご家族様の希望を尊重しながら検討している。	センター方式を活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。また、職員間で情報の共有が行われている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	病状など担当医から情報の提供を頂いたり、ご本人・家族に了解を得て認定調査情報を参考にしたり、日常の会話の中で情報を得たりする事も多い。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員担当制にする事で入居者様のより細かな状況把握に努めている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者・ご家族様の意向を伺い希望・要望を大切にしながら、現状に即したサービスを提供する為の介護計画を作成している。	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、センター方式を利用して本人、家族の意見や思いを反映するようにしている。また、カンファレンス、モニタリングを通じて介護計画に職員の意見を反映している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌や連絡帳等を利用し情報の共有を図っている。新しい情報や現状を把握し、体調面・心理状況の変化をカンファレンスを通じ話し合い、介護計画の見直しに活用している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院・入院対応・訪問美容・外出等様々なニーズに応える様努めている。又スタッフは研修会に出席し常に新しい情報を手に入れている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内役員や民生委員の方と情報交換や、年1回消防職員を招いた講習会など開き、地域で安心して暮らせる環境作りをしている。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科の往診や歯科の衛生指導を定期的実施して頂き、連携や協力体制を築いている。又入居者・ご家族様が希望している病院へも通院支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、医師の往診や急変時の対応等適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師を配置しており、出勤時に体調の報告や相談を行っている。			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院が可能となるよう病院側と連携し、情報交換に努めている。又入院中入居者が安心して過ごせるよう面会も頻繁に行っている			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合や終末期に向けた当ホームの方針をご家族様に説明している。状況に応じて担当医よりご家族様と職員を交えて話しをする機会を設けている。	本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取り、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、目の届く所に設置したり、年1回の救急講習を実施し、発生時に備えている。簡単な応急処置など看護師に対応を教わったりしている。			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内役員が推進委員のメンバーでもあり、定期的に地域住民も参加しての避難訓練や消火訓練を実施している。	スプリンクラーの設置が完了している。また、消防署の協力を得て、定期的に火災避難訓練を実施し、設備の定期点検も行われている。	スプリンクラー設置で安全対策が取られているが、今後は、設置後の対応や避難誘導方法、近隣施設との協力体制構築等再度点検されることを期待します。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりを尊重し個々の性格や気分に合わせて言葉掛けや対応を実施している。	身体拘束廃止委員会を通じて、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の入居者様に適した言葉掛けや話しを傾聴し思いを汲み取れる様な雰囲気を作り心掛けている。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活のペースを大切に、見守りながら、ご本人の思いや意向に添った支援を行っている。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容に注意を払い、更衣時は本人の希望を取り入れたり、一緒に準備したりしている。又洋品店にも出掛け買い物支援をしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりに合った食器や自助具を使う事で自力摂取を促し楽しく食事ができる様工夫している。それぞれの能力に応じた手伝いもしてもらっている。	一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に楽しんで野菜の皮むきや食事の準備、食後の後片付けや食器拭き等をしている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は毎日記録し情報を共有している。嚥下力低下に伴い提供方法を考慮しながら支援したり少しでも水分摂取してもらえる様に工夫している。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人に応じて支援している。又歯科衛生士に指導を受け、個人に合った用具を使用し口腔ケアの講習会にも積極的に参加している。			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様の排泄パターンを把握し、声掛けや誘導を実施。夜間オムツを使用している方も、日中は積極的にトイレ介助を行っている。	排泄チェックで排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるように支援している。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤の使用は医師の指示により内服・調整をしている。乳製品や繊維質の多い食材の使用や、個人にて乳酸菌飲料を定期飲用したりしている。			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	受診や外出を考慮しながら個々の体調を一番に配慮し、職員とのコミュニケーションの場としても重要な支援と捉え入浴を支援している。	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて支援している。また、本人の思いや要望、こだわり等に対応できるように職員間で情報の共有をしている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や体調を考慮し状況に応じ休息が取れる様支援している。日中は散歩やレク活動を行い、気持ちよく睡眠が取れる様支援している。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の手の届く場所には置かず、内服も確認をしながら確実な服薬に努めている。症状の変化についても十分留意し記録や送りを実施している。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる事・好む事を活かし職員と一緒に軽作業を実施したり、日々の生活の中で充実した毎日が過ごせる様支援している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個人の希望に応じて買い物・散歩・食事・に行く等支援している。ご家族様や友人の方の協力を頂きドライブや映画を観に行かれたりもしている。	一人ひとりの希望にそって、神楽岡公園散策や緑の相談所、買い物や散歩、畑の野菜の手入れや収穫等戸外に多く出かけられるように支援している。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	多額の金銭・通帳はご本人様の了解を得て、ご家族様やグループホームで預かり・管理をしている。買い物や食事など外出時に手渡し使用して頂いている。			
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望する方には電話の設置や手紙を出す支援も行っている。			
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事の時の写真や入居者様の作品を展示したり、ソファに手作りクッションを置いたりしてリラックスしてもらえる様工夫している。	リビングや廊下はゆったりした空間が作られ、季節毎の行事の写真の掲示や椅子やソファの配置等で本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本人用の椅子を用意し、自宅にいる時の様に安心してホールで過ごしてもらえる工夫している。			
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで自宅で長年使用していた家具や小物を使ってもらい、少しでも居心地よく過ごせる様に工夫している。	居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や寝具、観葉植物や家族の写真等が飾られ居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態に合わせコールに紐をつける・出入口に表示をつけ分かりやすくするなど、自立した安全な生活環境づくりをしている。			

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901761		
法人名	有限会社あらた		
事業所名	グループホーム あらた (ユニット2階)		
所在地	旭川市豊岡8条1丁目3番20号		
自己評価作成日	平成22年7月14日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172901761&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成22年8月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コミュニケーションの時間を多く持つ事で個々の入居者様の思いや希望を汲み取り、安心・満足感のある毎日を過ごして頂けるよう支援している。
年間行事なども外出行事を多く企画し、外の空気に触れ生き生きとした時間が過ごせるよう支援をしている。
玄関先や庭には季節の花々や野菜の苗を植えて、入居者様に教わりながら手入れをし、成長や収穫の喜びを味わいながら作業を実施しており、収穫した作物を献立に使用したり、簡単な調理を職員と一緒にしたりしている。
入居者様の可能性を見極め、只一方的に介護・支援を受けるのではなく、できる事を積極的に行えるよう支援し、行動に応じた結果が得られ生活に充実・満足・達成感が味わえる工夫もしている。
地域の方も気軽に立ち寄ってくれ、入居者様と会話をされたり、冬場には入居者様や職員と一緒に除雪作業を手伝ってくれたり、毎年必ず幼稚園児が訪問してくれるなど交流を大切にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)	
---------------------------------	--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の 理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「安心と尊厳のある生活」を理念に掲げ、ホールに掲示したり朝のミーティング内で唱和を行い、職員一同で意識統一を図っている		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所への散歩など地域の方々と触れ合い、消火訓練や行事への参加を呼び掛け、交流している		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣商店などとの付き合いや町内清掃に心がけ、資源回収にも協力している		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域住民の役員や民生委員、入居者家族の方に参加してもらい、地域の方々の理解や協力を頂きサービス向上に取り組んでいる		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者に質疑事項を通じて指導・助言を受けるとともに、担当者訪問時はサービスの実施状況を伝えアドバイスを頂くなど関係を築いている		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間の防犯を除き、施錠はしていない。身体拘束をしないケアを実践し、理解を深めている		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料の回覧や介護ミーティング・カンファレンスで話し合い、身体だけでなく言葉での虐待にも常に注意・意識をしながら支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	司法書士より権利擁護に関する指導を受け、状況に応じたアドバイスを受けている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者様・ご家族様と事前面談時に運営事項や入居に関する説明を行い、納得と同意を得ている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口の掲示や1F玄関に意見箱を設置する他、面会時に都度ご家族様へ声かけ、意見・要望を伺い反映を目指している		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員の意見や提案を聞く機会を設けている。月1回の介護ミーティングを実施し、話し合い・意見交換の場を設け、反映を目指している		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場での実績や勤務状況をみて職員の声を聞き、研修会への参加や資格修得者への昇給の機会がある		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	医療機関の協力を得て勉強会を開催したり、研修会への参加など職員のスキルアップに努めて下さっている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会や講習会の開催を通じて交流を深めたり、介護支援に関わる多様な支援や情報をグループワークを通じて、質の向上に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の情報を基に安心して過ごしてもらえるよう、今までの生活やご本人様の性格などを考慮し、一人ひとりに合わせた対話・環境作りに努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族様の希望に耳を傾け、来所時や電話連絡など密に入居者様の状況の連絡を行うなど、安心して当ホームにお任せしてもらえるような関係作りに努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の情報を基に、管理者・ケアマネを含めカンファレンスを実施している。必要とされている支援を見極め、わかりやすく適切なサービスの説明を心掛けている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の心理・体調面を考慮しながら得意なことの手伝いや方法を教わるなど支え・寄り添う関係を築いている		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お手紙で毎月の様子や近況を伝えると共に、入居者様と過ごす時間を大切に一緒に支援していく関係づくりをしている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	通い慣れたスーパーでの買い物や近隣住民の方の面会、お弟子さんとの交流など関係を継続する支援に努めている		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係や性格などを考慮した上で、行事やレクリエーションを企画し、より交流が深められるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もホームへ遊びに来られるような環境作りや入院先への訪問など行い、ご本人様やご家族様より相談・連絡があった時は対応している		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様の気持ちや意向に副うよう、フェイスシートを活用し、カンファレンス内で検討している		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートを用いて個々の生活歴や馴染みの環境・出来事を把握したり、情報の共有を図り、日々の支援に活かしている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員担当制により、細かい状況把握に努めている。定期的なカンファレンスを実施して、話し合い、検討している		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	都度ご本人様とご家族様の意向を伺い、希望を大切にしながら、現状に即したサービス提供をするための介護計画を作成している		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケア内容の改善・工夫など介護日誌や個人記録、職員間で情報共有に活用している連絡ノートに記録し、よりよい支援に活用している		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院・入院対応・訪問美容・外出などさまざまなニーズに応えるよう努めている。職員は研修会に参加し、新しい情報を収集し、日々の支援に役立てている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内役員や民生委員の方と情報交換や年1回消防職員を招いた講習会など開き、地域で安心して暮らせる環境作りを行っている		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今まで受診してきた病院との関係を大切に、ご本人様の希望に合わせて受診・往診の調整をしている。納得・安心できる医療サービスが受けられるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の配置、他職員との入居者様の情報を共有し、体調管理・受診の対応などを行っている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な面会をし、安心して治療できるよう生活面の支援と病院関係者やご家族様と密な連絡を交わし、情報交換を行うなど早期退院に向け取り組んでいる		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合や終末期に向けた当ホームの方針をご家族様へ説明している。状況に応じて担当医よりご家族様と職員を交えて話をする機会を設けている		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、目の届く所に設置したり、年1回の救急講習を実施するなど発生時に備えている。簡単な応急処置は日頃より看護師の指導・助言を受けている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内役員が推進委員のメンバーでもあり、定期的に避難訓練、消火訓練と共に行い、職員の防災意識の向上や災害対策を身につけている		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員が入居者様のプライバシーに配慮、人格を尊重した支援を行っている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段から希望を言いやすい雰囲気を作り、話を傾聴しながら自己決定を尊重した支援を行っている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの生活リズムを重視し、その日の体調やご希望に沿った支援を実施している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の身だしなみの確認や更衣時は本人の希望を取り入れ、一緒に買い物に出掛け本人の好む衣類や身の回りのものを購入している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの好みやできることを把握しながら混ぜる・切る作業やおしぼり準備、テーブル拭きなど一緒に行っている			
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	疾患や身体状況、嚥下力など把握し食べやすく飲みやすい形態でバランスの良い食事・水分摂取を心掛けている			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアで清潔を保てる支援を行い、訪問歯科と連携をし、口腔ケアの技術向上に努めている			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	それぞれの排泄パターンを把握し、出来る限りトイレでの排泄の継続支援を心掛けている			
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況の把握をし、医師や看護師へ相談し指示を受けながら下剤の調整をしている。水分や乳製品の摂取の他、腹部マッサージを促している			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	受診や外出を考慮し、本人の体調や希望を伺いながら支援している。職員とのコミュニケーションの場としても重要な支援と捉え、個々の希望を尊重している			
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	週1回寝具類の交換を行い、気持ち良く休んでもらえるよう環境整備している。夜間良眠につながるようメリハリのある生活支援を行っている			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬内容を理解し、服薬変更により症状の観察や薬剤師や看護師の指導のもと全職員で確認・把握に努めている			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴やできること・好むことを活かし、充実した毎日が過ごせるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様の希望を取り入れながら外出行事を企画し、個々の外出希望にはご家族様の協力や職員が付き添い支援している		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	多額の金銭や通帳はご本人様の了承を得てご家族様やホームで管理している。小額を自己管理し買物時支払いに行っている方もいる		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室に電話をつけている方や携帯電話を所持される方もおり、大切な関係を断ち切らない支援をしている		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の壁に行事の写真や季節感のある装飾を掲示し、心地よい空間づくりを心掛けている		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでくつろいだり、エレベーター前の花を見たり育てたり、テーブルを囲んで談笑するなど思い思いに過ごしてもらえるような空間づくりをしている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用してきた家具や小物など変わらず使用されることを出来る限り勤めており、落ち着いて過ごせるよう配慮している		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室やトイレ・浴室などわかりやすく表示したり、ホーム内バリアフリーで安全・自立を心掛けた環境づくりを行っている		

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組み	様々な認知症の症状に適切な対応ができる。	研修やグループワークに参加し学んできた事の積極的な実践や、ミーティングにて発表の機会を設け職員全員が学ぶ場を作る。	12ヶ月
2	27	入居者一人ひとりの様子が見える記録	実施した事、支援した事だけでなく、一人ひとりの状態・状況が思い浮かべれる様な記録が書ける。	管理者や研修に参加した職員が中心となり、資料や参考書を基に知識を深め、具体的な記録をしていく。	12ヶ月
3	26	チームで作る介護計画とモニタリング	職員全員が入居者様の状態・状況を把握し適切なモニタリング・評価が出来る。	入居者担当者制を継続実施しADL・I・QOLの向上を実現する為により細かな情報収集をし個人へのケアの質を高める。	6ヶ月
4	4	運営推進会議を活かした取り組み	地域や家族にグループホームを理解して頂き有事の際の協力体制を築いていきたい。	運営推進委員が町内役員の方々や様々な分野での知見者で構成されている為、災害・防火対策への取り組みを今後も話し合っていきたい。	3ヶ月
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。